

水 土 里 レ ポ ー ト

タイトル	「十和田湖水たんけんたい2026」
実施場所	青森県 十和田市
水土里レポーター名	奥瀬堰土地改良区 工藤 亨
投稿月日	令和8年6月12日

令和8年6月12日(金)十和田市立法奥小学校及び沢田小学校3・4年生20名を対象に、「十和田湖水たんけんたい2026」を開催いたしました。

青森県上北農林水産事務所、青森県土地改良事業団体連合会のご協力のもと、地域の農業用施設の水源である十和田湖や十和田発電所の施設見学を通して、奥瀬堰の歴史や地理的繋がり、用水路の仕組みについて理解を深めることを目的としています。

初めに、地域の農地に水を届けるために設置された農業用施設を見学しながら、国の天然記念物である「法量のイチョウ」近くにある暗渠手掘り跡にも立ち寄りました。

【国指定天然記念物「法量のイチョウ」】



【暗渠手掘り跡】



その後、十和田発電所の水車を回すための水を取り入れる子ノ口の青ブナ取水口と、発電所内の水車を見学し、水を取り入れる際に混ざってしまう木の葉や流木などを取り除く除塵機の仕組みや、発電所内部を見学しました。

十和田湖の水を利用した発電は、毎年5月から9月にかけては農業用水として必要な水の量で発電し、下流にある立石発電所、法量発電所で再利用されていることを学習しました。

【青ブナ取水口除塵機】



【十和田発電所見学】



さらに奥瀬堰頭首工を見学後、奥瀬幹線用水路から田茂木頭首工、沈砂池、幹線排水路を経由して奥入瀬川へと続く水の流れをたどる「アヒルレース」を実施しました。

児童たちは一人ひとり、自分のアヒルの人形を用水路に放流し、ゴールまでの水の流れやその仕組みについて、競い合いながら楽しく学びました。

【アヒルレース】



【沈砂池集合写真】



【アヒルレース集合写真】



見学から戻り、法奥小学校理科室にて、各施設で採取した水の水質調査（COD〈化学的酸素要求量〉）を行いました。児童たちは、実際に数値を測定しながら、地域の水がいかにかきれいであるかを体感していました。

また、水循環の仕組みについて、青森県土地改良事業団体連合会の職員が講師となり、図や写真を交えながら丁寧に説明していただき、水の大切さを学びました。

【水質調査の様子】



【水循環システム学習】

